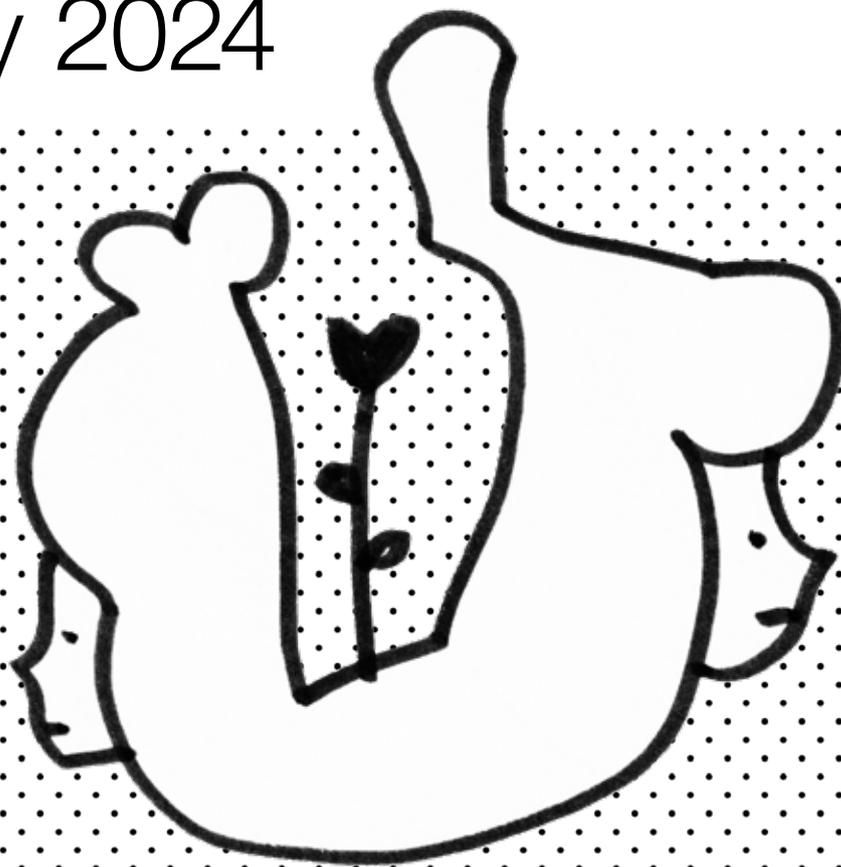


SINCE 2005

**Vol.226**  
monthly issue

# 加子母通信

February 2024



**特集** 加子母剣友会

**加子母剣友会、ブルターニュへ行く。**

# 加子母剣友会、ブルターニュへ行く。



「二十年前この地で剣道を始めようと決意し、道場を開館され今日まで活動を継続されてこられた皆様の努力に心から拍手を送り、敬意を表します。」フランスのブルターニュ地方のシャントビー市にある剣道クラブ「遊心館」の創立二十周年記念パーティーで加子母剣友会 桂川實さんがあいさつしました。

事の発端は、令和元年八月。フランスのブルターニュ地方のシャントビー市にある剣道クラブ「遊心館」のメンバー十三名が加子母にやってきました。稽古のほか、歌舞伎体験やなめくじ祭りなど加子母の夏を大満喫！次は私達が訪れたいという話はチラホラありながらも実現しなままコロナ禍に突入してしまい、ちょっと諦めかけていた二〇二三年にシャントビー市長さんから正式にご招待がきたのです。「楽しそう！」「重い防具を持ってフランスに行くの？」「誰が行くの？」「いくらかかる？」「突然、現実として浮き上がる諸々の課題。加子母剣友会のビッグプロジェクトです。先方とも相談して二〇二三年十二月中旬に二十五歳から七十四歳の十一名で訪仏することになりました。私もその一人として防具を担いでフランスに渡るこになったのでした。

遊心館では子どもとの稽古を含めて三日間の合同稽古です。フランスの剣士は、剣道に取り組む姿勢が大変に真摯で真剣そのもので、私たちが襟を正す想いでした。時間の感覚が違うのか、稽古時間が長くて、稽古不足の私なんぞは手が痺れてくるほど。面白いのは稽古後にビールやワイン、スナックなどが振る舞われることです。さすが、フランス。稽古をしていると言葉を交わさなくても相手のことを理解する

瞬間があります。それは相手と共通言語を持たなくても同じで、お互いにニヤリとしたり、感心しあったり。

三日目にはブルターニュ地方の剣士達が集まるので遊心館二十周年記念稽古会が催されました。稽古後には生ガキやワインが振る舞われての立食パーティー！剣道という共通言語とグルグル翻訳を駆使して交流が大盛り上がり。

滞在中は四家庭に分かれてホームステイさせてもらい、旅行では知る事のできない日常生活に触れるという貴重な経験でした。シャントビー市の公用車で観光にも行きました。世界遺産のモンサンミッシェル（びっくりするほど空いていてラッキーでした）、歴史ある要塞都市のサンマロで名物のガレットに舌鼓。ブルターニュ地方の最大都市レンヌの旧市街では特徴的な木組みの街並みを堪能。至れり尽くせりの大歓待を受けたのでした。

あつという間に滞在は終了して、お別れの時。たつぷりと交流したのだけれど別れは寂しいものです。次回は二年後に加子母で、と再会の約束。剣道のおかげで思わぬ大旅行ができたのでした。（田中）

## フランスからのコメント

2019年の日本旅行以来、私たちとは違う加子母の人々や文化の思い出を大切にしています。ですから今回、加子母のみなさんに再会し、こちらの風景や文化をご紹介できたのはとても幸せでした！この交流が今後も続き、こんな素晴らしい体験をしたいと望む人すべてが大人も子供も参加できるよう、心から願っています。2025年夏にまた加子母へ行きます。よろしくお願いします！

（キャンディス・アルーシュ＝デュフル）



# わが家のPet!



小和知  
田口マロくん 8才位  
#41

飛騨古川で生まれたオレが加子母の住人になって4年くらい経つな。好きなことは、キャットフードを食べること・寝ること・娘猫を追いかけて遊ぶこと。時々玄関の扉がすこーだけ開いている隙に、外へ脱走を試みているが、家の坂までしか行かない。賢いなあってご主人に撫でて貰うのが嬉しいのだ。 りえ



## コウノトリ

	2022年度		2023年度	
	男	女	男	女
4月	0	1	0	0
5月	1	0	1	0
6月	1	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	1	0	1	0
9月	0	0	0	0
10月	2	0	1	0
11月	0	0	0	0
12月	0	0	0	0
1月	2	0		
2月	1	0		
3月	0	0		
計	8	1	3	0

(令和6年1月5日現在)

## かしも通信文芸

俚諺正調

仇な浮世へ迷いの夢が  
さめて仰いだ鉄格子

安江湖水

俚諺正調

ひとつ音色を百八色に  
聞かす浮世か除夜の鐘

沼田蛙夢

俚諺正調

浮いてみせてもまだ初袷  
裾は乱さぬ富士の山

田口竹仙

わたしもかしもvol.88



寒い日は、



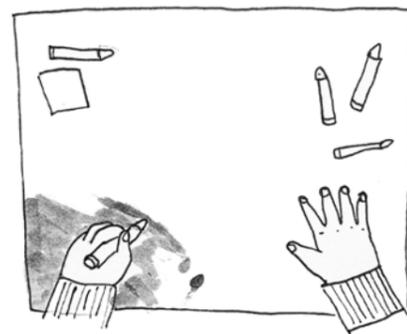
すぐには、  
飲まが



手もあたたか

あなたか〜い

## 佐野智哉のキヅキノート



細かい工具をいろいろと入手したこともあり、年末年始は道具と倉庫の整理。部屋中に道具を広げて、種類ごとに分類しなおします。ザッと広げたのはいいけれど、今度はどこにどう仕舞おうか、手が止まってしまいました。奥に閉まったまま使わないのであれば、スペースを取るだけです、断捨離も必要です。

使いたい時にサッと使えるよう、収納したいものですが、なかなかうまくいきません。それでも、多少なりとも倉庫がきれいになると、自分の頭の中もスッキリします。DIYを続ける中で、少しずつモノが増えていきながらも、フットワークや頭の中を軽くするために身の回りの整理もして、上手に暮らすのは、なかなか難しいものですね。

かしも子タイムズ 丹羽淳一

### 鬼めぐり考察!

今年も『鬼めぐり』の季節がやってきた。全国でも加子母・竹原のみで行われる珍しい風習の起源について詳しい文献が見つからないため、自由に考察してみようかと思う。

ズバリ、鬼めぐりの起源は威徳寺ではないか。威徳寺はかつて小郷～竹原に存在していた天台宗に属する巨大な寺だ。1192年頃に文覚上人が源頼朝の命を受けて建立されたが、1585年頃に戦火と飛騨地震により崩壊した。現在でもお寺の基礎や道が一部残っている。威徳寺が鬼めぐりの起源である可能性は、鬼めぐりが行われるエリアと寺があったエリアが一致していることや、鬼札から推測する。鬼札は天台宗と関連があり、比叡山延暦寺の『角大師護符』という鬼札の例があり、鬼札を戸口に貼ると厄除けになるという言い伝えがある。天台宗の威徳寺がこれを行ない、そこから地元住民に広まり、寺亡き後は、様々なおまじないと結びつき、現在の鬼めぐりに発展したのではないかと推測する。

子供たちが鬼めぐりを行う理由について、遊びが行事に発展した可能性があると考えられる。民俗学者の柳田國男は『子供の遊びは大人の行事を模倣したものである』と述べている。子供たちは大人が威徳寺へ鬼札をもらいに行く様子を真似て、寺から札を取って来たのではないかと推測する。寺の坊様が子供たちの行動を面白がり、地域に広まったのが「鬼めぐり」という文化になっていったのではないかと推測する。現代の鬼めぐりの寛容さから、過去の出来事を想像してしまう。今後子供たちが夕方鬼札を探し回れるような寛容な地域を大切にしたいと思う。

今回鬼めぐりに関する資料が非常に少なかった。初詣で文覚上人の墓に手を合わせ、情報を求める祈りを捧げたところ、その日の夜になって、威徳寺と天台宗の鬼札に関する情報が見つかった。何かの導きを感じる新年であった。

参考

・加子母の歴史と伝承 広報かしも205号(平成12年2月発行)森の親善大使鬼めぐり特集 文覚上人と大威徳寺(相原精次)  
・私本郷和郷土誌話 木流荘山人 節分と節句の民俗(飯島吉春)・比叡山延暦寺HP・そだ京都行こうスタッフブログ

### 一杯のコーヒーの注文

最近、美濃や飛騨の山奥の、人家もあまり無い所に、小洒落た喫茶店がいくつも出来ている。狭い店もあるし、回りに緑っぱいの庭があり、遠くの山を借景した立派な内装の店もある。月に1、2度顔を出す、素敵なインテリアの店に先日行ってみた。かなり広い店内にもかかわらず、その日は一杯だった。「コタツ席なら空いてますよ」と案内され、仕方なくチャージ料一人200円かかるコタツ席に座った。ブラインドを上げると、広々とした山の景色が見えて気持ちが良い。いつもかわい店員さんが注文を取りに来てくれるのだが、今回は様子が違う。テーブルの上にあるQRコードをスマホに読み込んでオーダーしてくれと言う。スマホはもっているが、メールとラインと電話機能以外はほとんど使った事がない私にとっては、QRコードでオーダーするなんて初めてのことだ。忙しそうにしている店員さんに再度来てもらって、説明を受けながら、コーヒー一杯の注文が完了した。

人類の科学は、産業革命以来、急速に変化してきたと思っていたが、とうとう私がついていけない所まで変わってしまった。そんな事を考えていると、座ったときは気持ちが良いと感じたコタツ席が、燦々と陽を浴びて、暑くてコタツに入っていれなくなった。でも、チャージ料を払ったからには意地でもコタツを使わなくては。

お茶の注文一つ、スマホで出来ないなげなげもあって、年寄りの冷や汗と、コタツの暑さの為の汗が一緒になって、背中を流れていくのが感じられた。

中切 治

**編集後記**  
編集長/秦雅文

1月13日に「中村勘三郎十三回忌追善 偲ぶ会」が東京・ホテルオークラで行われ、1140名が献花に訪れました。松竹の会長さんのお話で『勘三郎さんの一番すごいところは、新しいことに挑戦されたあと、古典にきちんと戻れるところ』とおっしゃっていました。

18年前に勘三郎さんにインタビューしたのを懐かしく思い出しながら、祭壇に手をあわせ献花しました。

今年は十八世中村勘三郎十三回忌追善『中村勘九郎 中村七之助 春暁歌舞伎特別公演2024』が明治座にも来ますし、10月には硫黄島で中村勘九郎さんが「俊寛」を演じるそうです。

加子母歌舞伎保存会も3月にぎふ清流プラザにて勢揃い公演のトリで、「俊寛」を演じるので興味は尽きません。

今年は中村屋の公演に加え、歌舞伎保存会は3月の「ぎふ地歌舞伎勢揃い公演」、「第50回加子母歌舞伎公演」、「清流の国ぎふ文化祭2024」と3公演行うのでいそがしい1年になりそうです。

加子母歌舞伎もどんどん新しいことにも挑戦して、楽しまなくては!

古典芸能なんて、ほとんど知らない事が多いので、新鮮に感じるこの方が多いのです。

**かしも食堂**  
昔から伝わる絶品料理を紹介!  
食には文化があらわれる。

**味ごはん**

昔は節分に味ご飯を炊いていた。ゴボウなどの具を煮て、洗ったお米に入れて炊いていた。美味しいけど面倒。中々作らないし、作ればご馳走で近所に配った。

テンピで相葉雅紀さんがお釜で色々な炊き込み料理を紹介している。テレビを見てからは、私も2合のお米で、色々挑戦した。簡単で気軽に作りませんか?



**基本分量**

- お米 2合
- 水 400
- 醤油 大1
- 酒 大2

**具**

- シーチキン、人参
- 椎茸、エノキ

**作り方**

- ①米洗う
- ②お釜に米を入れて醤油、酒、シーチキンを入れて水を合わせる。人参をさがぎにして入れる。椎茸、エノキを入れて炊く

**ポイント**

- ★加子母は熊、猪の肉で味ご飯を炊いてネギのみじん切りをのせて食べていたとよく聞きます。
- ★鶏肉や油揚げなども入れると美味しい。
- ★自のゴボウで、自たまりで作るともっと美味しいと先輩が話してくれました。

絵手紙：加子母公民館絵手紙教室協力  
加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。  
福井三月 ☎ 0573-79-2627



小郷 けいちゃんの  
**こざと**

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618  
(サブロクジュウハチ)  
定休日 月・火曜日



**ニワデン**  
(一財) 岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。  
悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信  
2024年1月25日発行 No.226

- Publisher Hara Yuumi
- Editor in Chief Hata Masafumi
- Deputy Editor Honma Kiyoko
- Editors Tanaka Hiroko, Sato Yoko, Sano Tomoya, Fukui Yayoi, Susaki Yusa, Fukui Rie, Taguchi Sachiko, Niwa Junichi
- Correspondent Zenda Nao
- Illustrator Honma Kiyoko

**かしもっ子だよ全員集合!**

**中**

学校▶12月の初旬、加子母地区社会福祉協議会の脇坂文子副会長さんが来校され「おせち弁当熨斗(のしづくり)の協力依頼をお昼の放送でしていただきました。その依頼を受け、中学生のみんなは張り切って熨斗に絵を描いたり、メッセージを書いたりしました。さかのぼると本年度は社会福祉協議会の安江さん、原さん、子ども園保護者会長の榎さんも同様にお昼の放送で協力依頼をしてくださっています。部活の大会があったり、家庭の都合があったりで、毎回、全員が協力できるわけではありませんが、多くの生徒が子ども園、ディサービスの敬老会等の行事に参加することが出来ました。また、出向がなくてもできる熨斗づくり、メッセージカードや手紙を書くボランティアを行うことが出来ました。

中学生にとってボランティアとは、具体的な社会参加で、「なりたい自分見つけ」であったり「自分の居場所づくり」であったりします。その証拠にボランティア後の生徒の顔は充実感と自信で満ちあふれています。中学校内でも何か行事や作業がある時はボランティアを募っています。生徒(人)が自分のやりたいことや特技をもって社会に貢献することは「実社会の仕組み」そのものです。これからの先行き不透明な社会を生きていく中学生が今、身に付けていかなければならないことは、案外、机上の勉強よりも、身をもって行動する体験から得るものが多いように思います。

今年も是非、多くの方(団体)からの協力依頼をお待ちしています。

また、今年からは中学校で月に一度、行っている「カリスマトレーナーによるストレッチ教室」も地域の方にも参加、見学

してもらいたいと考えています。日時は「広報かしも」でお知らせしますので、こちらも是非、参加、見学をお願いします。

「ボランティア依頼」「ストレッチ教室」についてのお問い合わせは教頭の熊崎(79-3019)までお願いします。



小 集中して取り組んだ書き初め大会

**小**

学校▶1月10日(水)に全校で書き初め大会を行いました。1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、1年生「なかよし」、2年生「元気にあいさつ」、3年生「友だち」、4年生「美しい空」、5年生「新しい風」、6年生「将来の夢」という課題に挑戦しました。3年生以上の学年には、4名の地域の講師の先生にお越しいただき、筆の持ち方、文字のバランス、「とめ・はね・はらい」などの筆づかい、名前の書き方など、一人一人に助言し指導をしていただきました。そのおかげで、どの子も一文字一文字集中して作品を仕上げることができました。講師の先生方からは、「少人数なので、一人一人に合わせて声をかけることができました。」「アドバイスを生かして、大きく書いていて素晴らしいです。」など、感想を伺うことができました。



こ 門松立て

日常生活の中で文字を書く場面はたくさんありますが、新年の書き初め大会を通して、集中して気持ちを整えて文字を書き、自分と向き合うことができました。

子ども園▶ 今年もよろしくお願いたします。新しい年を迎えられるようこども園でも自分たちの部屋や下駄箱・ロッカーを大掃除しました。一生懸命掃除する姿はなんとも可愛らしかったです。12月下旬に保護

者会の方に門松を立てていただきました。門松が出来上がる時には子ども達も見守り、素敵な門松が出来上がり、新年を迎えることが出来ました。お正月休みは家族の方と良い1年になるよう初詣に出かけ、お参りをしてきた子ども達もいたようです。

1年で一番寒さが増す1月~2月ですが、天気が良ければ戸外で体を動かし集団遊びを楽しみ、雪が降ったら雪遊びを楽しみたいですね。年が明け今年度もあと3ヶ月です。感染症に気を付け、進級・数学に向け、園全体で楽しい思い出が作れるように取り組みを行っています。

**乳**

幼児▶ 加子母・付知子育て支援センターくるりんば感染症拡大防止対応の「くるりんば開放日」を設けています。



## 2月の行事予定

1	木	【小学校】新1年生半日入学 【中学校】あいさつ運動
2	金	【こども園】節分 【中学校】助産師による思春期教室(3年)
3	土	
4	日	
5	月	【こども園】身体測定
6	火	【こども園】歯科検診
7	水	
8	木	
9	金	【中学校】立志式 【中学校】参観日・学年懇談会
10	土	
11	日	建国記念の日 有害・大型ごみ(9~13)
12	月	振替休日
13	火	
14	水	1歳6か月児健診(午後~福岡会場) 【こども園】誕生日会
15	木	行政相談(13:30~15:30)
16	金	【こども園】新入園児健康診断
17	土	【小学校】6年生断層案内(防災士会主催)
18	日	不燃・資源・硬質ごみ(16~17)
19	月	【こども園】ALT来園
20	火	
21	水	3か月児健診(午後~福岡会場)
22	木	区長会(14:30~) 【小学校】授業参観・学級懇談会
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	人権相談(13~15)
28	水	
29	木	【こども園】参観・懇談会

空気が乾燥し、火災が起りやすい状態が続いています。火の取り扱いは充分、注意してください。



# こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

## 市・県民税申告の受付が始まります

市・県民税申告の受付を2月6日(火)から3月15日(金)まで行います。加子母地区での住民税と所得税の申告受付は2月21日(水)・2月22日(木)・2月26日(月)の3日間です。

※土曜・日曜・祝日の受付はありません。

【加子母地区日程など】

・①2/21(水)角領・万賀・下桑原 ②2/22(木)中桑原・上桑原・中切 ③2/26(月)番田・二渡・小和知・小郷

・場 所:加子母公民館(ささゆり会館)1階第一研修室

・受付時間:午前(9:00~12:00)・午後(13:00~16:00)

加子母地区以外の会場でも受け付けます。広報なかつがわ2月号の18・19ページをご確認頂き、ご都合の良い日程・会場へお越しください。申告会場は混雑する場合がありますので、必要な書類は整理をして、時間に余裕を持ってお越しください。

## 高校生バス通学補助金の申請はお済ですか？

中津川市では、高校生のバス通学への補助金制度を実施しています。令和5年度分の手続きがお済みでない方は、お早めにお申し込みください。

◆対 象:高校へのバス通学定期券(現金・回数券等は不可)

◆申込期限:令和6年3月15日(金)

◆学生証の写し、定期券の写し(定期券に金額の記載がない場合は領収証)、振込口座の写しをお持ち下さい。

◆問 合 先:定住推進課、加子母総合事務所

## 行政相談のご案内 ~ 困ったら 一人で悩まず 行政相談 ~

「困りごとがあるが、どこに相談してよいかわからない」「役所が対応してくれない」「高齢者や障害者への配慮に欠けている」など、役所の仕事に関する苦情、意見・要望や行政に関して分からないことなどはありませんか?そのような時に役に立つのが、総務省の「行政相談」です。行政相談は、国や国が関わっている都道府県・市町村などの業務に関する苦情、意見・要望などを幅広く受け付け、担当する行政機関とは異なる立場から、必要に応じて、関係行政機関に斡旋を行います。そして、その解決や実現の促進を図るとともに、行政の制度・運営の改善に活かす仕組みです。相談は無料で秘密は固く守られます。

2月行政相談 2月15日(木) 13:30~15:30 加子母公民館(ささゆり会館)第一研修室  
行政相談員 星島光雅(ほしじまこうが)さん

## 図書室だより

### 【2月おすすめ図書】

■恋ははかない、あるいは、プールの底のステーキ(著 川上弘美)

作家のわたし、国語教師だったアン、そして作詞家のカズ。カリフォルニアのアパートメントで子ども時代を過ごした友人たちは半世紀後の東京で再会した。それぞれの人生が、あらたに交わり、移ろっていく。じわり、たゆたうように心に届く大人の愛の物語。

■どんぐりたいこ(作 ジェリー・マーティン 絵 長澤星)

どんぐりたちが太鼓を叩いていると、動物たちが次々加わり、楽しい和太鼓演奏が始まります。最後は月明かりに照らされて、森の仲間が大集合。子どもたちが大好きなどんぐりを主人公に、楽しいリズムがあふれる1冊。



加子母の人口と世帯数(令和6年1月1日現在) 世帯数:939世帯 男:1,190人 女:1,228人 計:2,418人